

# みえ県議会だより

NO. 157

平成29年  
(2017年)  
8月1日



石取祭(桑名市)

発行 / 二重県議会 集 / 三重県議会広聴広報会議

〒514-8570 津市広明町13  
☎ 059(224)2877 ☎ 059(229)1931 ✉ gikaik@pref.mie.jp  
🌐 <http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>  
📱 <http://www.gijiroku.jp/mie/> (スマホ版)



▲議会ホームページ



▲スマホ版議会だより

## 平成29年三重県議会定例会 6月定例会議 産業人材の育成・確保や県営サンアリーナの 集客力向上に伴う補正予算などについて議論

国費を活用した産業人材の育成・確保や県営サンアリーナの集客力向上に取り組む事業のための平成29年度三重県一般会計補正予算のほか、三重県半島振興対策実施地域における県税の特例措置に関する条例等の一部を改正する条例案などを審議し、可決しました。

### 本号の主な内容

- 1面 東海北陸7県議会議長会議、本会議審議の結果、会議の開催状況、平成29年三重県議会定例会の日程、みえ県議会出前講座のご案内
- 2～3面 一般質問、用語解説
- 4面 委員会の紹介

### 広域的課題について意見交換

#### 東海北陸7県議会議長会議

三重県議会では、6月2日、津市において、愛知県、静岡県、岐阜県、富山県、石川県、福井県及び三重県の各県議会の議長と副議長が参加した東海北陸7県議会議長会議を開催しました。会議では、各県に共通する広域的課題について意見交換を行うとともに、「災害時における広域応援体制の確立

について」や「精神障がい者に対する公共交通機関の運賃割引制度の適用について」など、喫緊に対応が必要な7件の議案を議決しました。

また、地域活性化に関する施策の参考とするため、三重県酒造組合会長の清水慎一郎氏をお招きし、「日本酒の振興を通じた地域活性化」と題し、日本酒と地域との歴史的・文化的繋がりが、海外への販路拡大に向けた取り組みなどについてご講演いただきました。



なお、会議において議決した議案については、7月25日に、国関係機関に持参し、要望活動を行いました。

### 本会議審議の結果

議案の概要、議員別の賛否等の状況などの審議結果や、請願・意見書の内容は、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

#### 可決した議案

- 平成29年度三重県一般会計補正予算(第3号)
- 三重県半島振興対策実施地域における県税の特例措置に関する条例等の一部を改正する条例案 ほか5件
- 中勢沿岸流域下水道(志登茂川処理区)の維持管理に要する費用の市負担について ほか1件

#### 人事案件(同意)

○公安委員会委員の選任につき同意を得るについて ほか1件

#### 採択した請願

○平成29年三重県地域別最低賃金引上げについて

#### 不採択とした請願

○農業者の戸別所得補償を制度化することを求めることについて

#### 可決した意見書

- 「アロ等準備罪」を新設する組織犯罪処罰法等改正案について国民の十分な理解を得ずに行われた採決に抗議し慎重な審議を求める意見書
- 平成29年度地域別最低賃金の引上げに関する意見書
- 森林環境税(仮称)の早期創設を求める意見書

### 会議の開催状況

〔会議の様子は、一部を除き県議会ホームページの「議会中継」からご覧いただけます。〕

6月	5日	8日	12日	14日	16日	9月
本会議 議案9件上程 全員協議会 平成29年版成果レポート(案)について ほか 本会議	議案に関する質疑 選挙区調査特別委員会 県議会議員の選挙区及び定数について(委員間討議)	本会議 一般質問(5人) 意見書案1件上程・可決	本会議 一般質問(5人)	本会議 一般質問(5人)	本会議 一般質問(4人)	9月1日 代表者会議 8日 議会運営委員会 15日 本会議(議案上程) 21日 本会議(議案質疑) 25日、27日、29日 本会議(一般質問) 10月2日 予算決算常任委員会 3日 全員協議会 4、5、6日、10日 各常任委員会及び分科会 13日 本会議(代表質問) 13日 予算決算常任委員会
20、23日 各常任委員会・分科会 議案等の審査、所管事項の調査 28日 予算決算常任委員会 議案の審査、所管事項の調査 障がい者差別解消条例策定調査特別委員会 執行部からの職き取り調査 働き方改革調査特別委員会 執行部からの職き取り調査 本会議	30日 議案9件可決、請願1件採択・1件不採択、意見書案3件上程・2件可決・1件否決、人事同意議案2件上程・同意 選挙区調査特別委員会 県議会議員の選挙区及び定数について(委員間討議)	16日 代表者会議、議会運営委員会 17日 本会議 (採決・議案上程) 24、25日 予算決算常任委員会 25日 全員協議会 30日 予算決算常任委員会 31日 予算決算常任委員会各分科会	16日 代表者会議、議会運営委員会 17日 本会議 (採決・議案上程) 24、25日 予算決算常任委員会 25日 全員協議会 30日 予算決算常任委員会 31日 予算決算常任委員会各分科会	16日 代表者会議、議会運営委員会 17日 本会議 (採決・議案上程) 24、25日 予算決算常任委員会 25日 全員協議会 30日 予算決算常任委員会 31日 予算決算常任委員会各分科会	16日 代表者会議、議会運営委員会 17日 本会議 (採決・議案上程) 24、25日 予算決算常任委員会 25日 全員協議会 30日 予算決算常任委員会 31日 予算決算常任委員会各分科会	

### 平成29年三重県議会定例会の日程

三重県議会の会期は通年制となっております。9月から10月までの日程は次のとおりです。

この日程は、平成29年7月5日現在の予定です。最新の情報は、ホームページでご確認ください。

9月	10月	11月
9月1日 代表者会議 8日 議会運営委員会 15日 本会議(議案上程) 21日 本会議(議案質疑) 25日、27日、29日 本会議(一般質問)	10月2日 予算決算常任委員会 3日 全員協議会 4、5、6日、10日 各常任委員会及び分科会 13日 本会議(代表質問) 13日 予算決算常任委員会	11月 本会議(議案上程) 17日 本会議(採決・議案上程) 24、25日 予算決算常任委員会 25日 全員協議会 30日 予算決算常任委員会 31日 予算決算常任委員会各分科会

### みえ県議会出前講座のご案内

県議会をより身近に感じていただき、将来の住民自治を担う県民としての意識を育んでいただくことを目的に、「みえ県議会出前講座」を実施しています。県内の小中学校や高等学校などに議員が出向き、「県議会の役割」等をテーマに授業を行い、皆さんからの質問にお答えします。昨年度は小学校や高等学校など、全8校で実施しました。みえ県議会出前講座は、学校からの申し込みを受けて実施しています。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。



昨年度に実施した出前講座の様子

# 一般質問

文中の傍線部分については、3ページに用語解説を掲載しています。

## 大規模災害発災時における傷病者の処置について

廣 耕太郎 議員  
新政みえ  
伊勢市選出



### 問

大規模災害の発災直後は、多数の傷病者が避難所に押し寄せるところが考えられます。このような場合に備えて、我々も前もって知識を得て応急処置ができる対応ができれば良いと考えています。医師法等の規制があることは承知していますが、緊急の場合は、医師以外の医療従事者においても応急処置ができるような方法があるのか聞かせてください。



大規模災害を想定した訓練の様子

### 答

大規模地震等により発生した負傷者が医師による適切な医療を受けられるまでの間、医師以外の医療従事者ができる処置は、災害時においても止血や消毒、傷口の保護等の応急手当であります。従いまして、いかに迅速かつ適切に必要な医療を受けられる状況にするかが課題であると考えています。

#### その他の質問事項

- お伊勢さん菓子博2017について
- 北朝鮮情勢等への対応について

## 伊勢音頭など地域の宝を活用した教育を

中川 正美 議員  
自民党  
伊勢市選出



### 問

伊勢音頭は江戸時代、伊勢参りの流行とともに発展し、今でも全国の各地域で歌い継がれています。伊勢志摩サミットの配偶者プログラムでは子どもたちが伊勢音頭を披露し大盛況となりました。伊勢音頭は地域の宝の一例ですが、将来地域を担っていく子どもたちが地域の宝を活用して郷土への愛着を育む教育をどのように進めていくのか、県の考えを聞かせてください。

### 答

県教育委員会は、子どもたちが郷土を知り愛着を持てるよう、郷土に親しむ教材「ふるさと三重かるた」の活用等を促しております。市町でも地域の独自性を生かした取り組みを進めています。伝統文化を活用した優れた教育活動が県内に広がるよう、市町が行う郷土教育を支援していきます。



ふるさと三重かるた

#### その他の質問事項

- 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした「県産農産物」の販路拡大について
- 食生活改善推進員を活用した健康づくりについて

## 女性に健康づくりへの支援を

大久保 孝栄 議員  
鷹山  
熊野市・南牟婁郡選出



### 問

女性の活躍推進と言われていますが、まだまだ女性が社会で認められるには大きな弊害があると感じております。また、女性が一生を通してホルモン分泌による体調の悪さに耐えていることなどの啓発やライフステージに応じた教育が必要かと思えます。そこで、県が実施している女性の健康をサポートする取り組みや県内における女性の健康診断の状況について聞かせてください。



### 答

女性は結婚、妊娠、出産等でも生活環境が大きく変化し、心身の不調を起しやすいため、県ではライフステージに応じた健康づくりの普及啓発を行っています。健康づくりに関する情報提供や市町が実施する骨粗しょう症検診等への支援にも取り組んでおり、女性特有の疾患である乳がん、子宮頸がんの検診の受診率は増加傾向となっております。

#### その他の質問事項

- 命の源である山について
- 東紀州活性化について

## 心のバリアフリーを育む「ヘルプマーク」の普及を

山内 道明 議員  
公明党  
四日市市選出



### 問

外見からはわからない、義足を使用している人や自閉症、内部障がいのある方などが周囲の配慮や援助を必要としていることを知らせるヘルプマークは全国的にも普及が進んでいます。東京都においては東日本大震災で帰宅できない障がい者が続出したことをきっかけにヘルプマークを掲載したヘルプカードが導入されました。県においてもその普及を検討していきたいと思えますが、いかがですか。

### 答

ヘルプマークは支援を必要とする方への気づきや、思いやりを持った行動を促進することにもつながるなど意義のあるものと考えます。この取り組みが全国的に広がってきている現状や国の動きもふまえ、導入に向けて関係団体や市町の意見も聞きながら、具体的な手法について検討していきます。



ヘルプマーク

#### その他の質問事項

- 県営住宅の入居率向上と持続可能なコミュニティの形成に向けて

## みえの安心食材表示制度の見直しを

倉本 崇弘 議員  
大志  
桑名市・桑名郡選出



### 問

みえの安心食材表示制度は平成14年度に制定され、化学農薬や化学肥料の使用を削減して栽培された農産物等をその栽培履歴も含めて県民に表示する県独自の制度です。この制度の化学農薬や化学肥料の削減目標は30%ですが、農薬や化学肥料を使わない有機JAS規格と70%の開きがあるため、その間に50%などの削減目標の設定が必要と考えますが、いかがですか。



安心食材販売状況

### 答

この制度の認定基準は、一般的な栽培に比べて化学農薬や化学肥料の使用量を3割以上減らすこと等としています。今後は、各生産者の化学農薬等の削減率やこだわりの生産方法を消費者に伝え、制度のあり方についても他県との状況や生産者・消費者のご意見も聞きながら研究していきます。

#### その他の質問事項

- 子ども医療費の窓口無料化について
- 小中学校における障がい児の増加による対応について

## 県立子ども心身発達医療センター開設に対する思いは

小島 智子 議員  
新政みえ  
桑名市・桑名郡選出



### 問

6月に開設された県立子ども心身発達医療センターは、病院であると同時に児童福祉法に基づく福祉施設でもあり、障がいや発達に課題のある子どもたちの専門医療・福祉機関として、子どもたちの心と身体の発達支援の拠点であると認識しています。多くの方の長年の願いでもありました同センターに対してどのような思いを持ち、今後どう進めていくのかお聞きします。

### 答

発達支援が必要な子どもが健やかに成長するには、心と体の両面からの総合的な支援が重要であり、子どもたちや保護者の切実な思いにこたえるために開設しました。今後、医療・福祉・教育が連携した専門的支援による先進的な取り組みを展開するとともに、支援が必要な子どもたちが安心して学び暮らせる地域づくりに貢献していきます。



県立子ども心身発達医療センター

#### その他の質問事項

- 「みえ性暴力被害者支援センター」よりこについて
- 県立一志病院のあり方について

## 花き花木の振興

津田 健児 議員  
自民党  
四日市市選出



### 問

本県はサツキ・ツツジの出荷量が日本一であり、今年3月に策定された「三重県花き花木振興計画」に基づき、今後どのような振興を図っていきますか。また、三重の花が積極的に活用されるよう、伊勢志摩サミット開催において展開された花いっぱい作戦のような県民参加型の取り組みが継続されていくことが重要と考えますが、県の考えを聞かせてください。



日本一の生産を誇るツツジ類

### 答

本県の特徴である花き振興の視点も加えて取りまとめたこの計画には、具体的な取り組みとして「生産振興」「消費拡大」「花育・緑育活動の推進」を位置付けており、関係団体とも連携の上、花き花木の振興を図っていきます。また、さまざまな主体によって花や緑に親しむ県民参加型の取り組みが展開されており、引き続きサポートしていきます。

#### その他の質問事項

- 家庭教育支援について
- 無電柱化対策について

### 自殺(予防)対策の充実を

濱井 初男 議員  
新政みえ 多気郡選出



**問** 日本の自殺者は減少傾向になったとはいえ、平成27年は約2万3千人となっており、特に若い世代の自殺は深刻な状況であり、15歳から39歳の5歳ごとに区切った各年代の死因の第1位が自殺となっています。県は世代別、特に若年層の自殺企図者等について④アウトリーチ型支援を含めどのような自殺(予防)対策に取り組んでいるのかお聞かせください。



**答** 三重県の平成27年の自殺者数は339人と減少傾向にあります。若年層は横ばいで全体の4分の1を占めています。このような中、中高年層には職場でのメンタルヘルスを働きかけ、若年層には必要に応じ医療従事者等が学校訪問し自殺対策の支援を行っています。今後は、「第3次三重県自殺対策行動計画」策定にあたり総合的な自殺対策を推進してまいります。

**その他の質問事項**  
○平成三十年度全国高等学校総合体育大会開催に向けて  
○防災・減災対策について

### コウナゴ資源の激減、サンマ不漁の原因は

石田 成生 議員  
自民党 四日市市選出



**問** 伊勢湾のコウナゴは2年連続の禁漁となり、漁業だけでなく加工業にも大きな影響を及ぼしています。また、熊野灘のサンマの水揚げがほぼゼロであるため、加工に他県産を使ったり、地元産にこだわる加工業者が生産を取りやめるといった事例があると聞いています。そこで、伊勢湾のコウナゴ資源の激減や熊野灘のサンマ不漁の原因に関する県の考えと今後の対応をお聞かせします。

**答** イカナゴ(通称コウナゴ)の激減は、夏眠前後の大量へい死、サンマの不漁は「来遊経路の変化」等によると考えられます。詳細な原因究明等を国に要望しています。今後、漁業者が行うイカナゴ資源管理の支援に努めるとともに、熊野灘海域でのサンマ漁場の調査、分析等を進めていきます。



イカナゴ操業風景

**その他の質問事項**  
○アクティブ・シチズンとの協働・応援について  
○「ものづくり創造専攻科」創設について

### 宮川河口の漁場整備と漁業資源の管理について

中村 進一 議員  
新政みえ 伊勢市選出



**問** かつての宮川河口は、漁場環境がよく好漁場でありましたが、今は土砂が堆積し、魚介類の栄養不足や⑥貧酸素水塊が毎年発生しています。漁場環境をどのように改善していくか県の考えをお聞かせください。また、漁獲量が減少する中、まき網や一本釣り等の漁法を行う漁業者のすべてが生き残るために意見交換の場が大事だと思えますが、いかがですか。



干上がった宮川河口付近の状況

**答** 宮川河口域を含めた伊勢湾全域のアサリ資源を回復するための計画を策定し、アサリの育成に適した環境を創出する干潟の整備を進めていきます。また、漁業者同士の話し合いや行政機関も入った意見交換により、いずれの漁業も共存できるような状況、ルールを作り上げるこ

**その他の質問事項**  
○非核平和県宣言20周年における県の取り組み  
○共謀罪の市民の生活への影響と地方の役割は

### 看護師の勤務環境改善を

小林 正人 議員  
自民党 鈴鹿市選出



**問** 総合病院等での看護師の超過勤務や夜勤体制が過酷なため、離職するケースがあり、深刻な問題になっています。県は平成26年度に三重県医療勤務環境改善支援センターを設置し、三重県医師会に事業を委託して医療機関等に環境改善を働きかけていますが、その機能状況について聞かせてください。また、県管理の病院の実態についても聞かせてください。

**答** 看護師は、夜勤等からの負担が大きいことから、夜勤者の確保が困難になっています。県では医療勤務環境改善支援センターを設置し、医療機関の管理者等を対象にアドバイザーによる助言などを行っています。また、県立病院では、看護補助者の配置や柔軟な人事配置等により時間外勤務の縮減や夜勤回数削減などに取り組んでいます。



**その他の質問事項**  
○人口減、少子高齢化による労働力不足について  
○県管理河川における沈没船の移動撤去・処理等問題について

### 農業所得について

三谷 哲央 議員  
新政みえ 桑名市・桑名郡選出



**問** もうかる農業を実現するためには農業所得を増やすことが必要と考えており、小規模な農業経営体のポトムアップをしていく施策を県として行う必要があると思いますが、県の考えをお聞かせください。また、そのためにも経年の農業所得を規模に応じて把握し、成果指標として位置づけられないと聞かれますが、いかがですか。



**答** 経営発展途上にある農業経営体の経営改善を促し、所得向上を図ることは重要であると考えており、個々の経営状況や課題の把握に努めながら、生産面や販売面の支援を強化してまいります。また、成果指標については、毎年の農業所得を統計的に把握するのは難しいですが、可能な方法を検討してまいります。

**その他の質問事項**  
○ヘイト対策について  
○木曾岬干拓地の土地利用計画について

### 用語解説

#### 1 ヘルプマーク

義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで援助を得やすくなるよう、作成されたマークです。今年7月、日本工業規格(JIS)に登録されました。

#### 2 有機JAS規格

有機JAS規格は、食品の国際規格を定める機関のガイドラインに準拠し、堆肥等で土作りを行い、化学合成肥料及び農薬を使わず栽培するなど、農畜産業に由来する環境への負荷を低減した持続可能な生産方式の基準を規定したものです。

#### 3 みえ性暴力被害者支援センターよりこ

性犯罪や性暴力の被害に遭われた方の相談窓口として平成27年に開設されました。同センターでは、性犯罪・性暴力被害者支援のためのワンストップ相談窓口として、相談者の気持ちに寄り添う支援を行うことにより、相談者の負担を軽減し、早期の心身の健康の回復を図ります。

#### 4 アウトリーチ(型支援)

医療・福祉関係者等が患者のもとに直接出向いて心理的なケアとともに必要とされる支援を行うことです。

#### 5 アクティブ・シチズン

アクティブ・シチズンとは、三重県総合計画「みえ県民力ビジョン」等のなかで、社会における自らの役割と責任を自覚し、積極的に社会に参画する住民のこととされています。

#### 6 貧酸素水塊

夏場に暖かい海水が表面に留まることで、海水の下混合が起こりにくくなり、海面から海底への酸素供給が減少するとともに、海底に堆積した有機物の分解等により海水中の酸素が消費され、酸素が極端に少ない状態となった水の層のことです。

#### 7 ヘイト

ヘイトとは、英語で「憎悪(hate)」を意味する言葉です。また、いわゆるヘイトスピーチとは、特に公の場で、特定の人種や民族などに対してする、極端な悪口や中傷のことです。

# 委員会の紹介

行政部門別常任委員会、特別委員会の活動を紹介します。

## 総務地域連携常任委員会

行財政の運営、地域振興の推進、スポーツの振興、県南部地域の活性化などについて、審査・調査します。

### 【重点調査項目】

- 職員の人材育成（職員の健康管理を含む）  
高い意欲と能力をもった人材育成の取り組みや職員のメンタル疾患に至らない職場環境づくりについて調査します。
- 多様な収入確保策の推進  
持続可能な行財政運営を維持していくため、多様な収入確保策の取り組みについて調査します。
- スポーツの推進  
平成33年の国民体育大会等の開催に向けた着実な準備と競技力向上の取り組み、スポーツを通じた地域活性化の推進の取り組みについて調査します。
- 南部地域の活性化（過疎・離島・半島地域の振興を含む）  
市町と連携した県南部地域や過疎・離島・半島地域の活性化の取り組みについて調査します。



みえのスポーツフォーラム

## 戦略企画雇用経済常任委員会

県政の総合企画調整、雇用対策、エネルギー政策、産業振興（農林水産業を除く）、国際交流、観光の振興、会計管理、監査その他行政運営の適正確保などについて、審査・調査します。

### 【重点調査項目】

- まち・ひと・しごと創生総合戦略  
産学官連携による地方創生の取り組み等について調査します。
- 産業振興  
成長産業の創出・育成、中小企業・小規模企業の振興にかかる取り組み等について調査します。
- 観光振興  
持続可能な観光地づくり、インバウンド誘致、国際会議等MICE誘致の取り組みについて調査します。
- 新エネルギーの導入促進  
環境負荷の少ない安全で安心な新エネルギーの導入について調査します。



大手メーカーと県内企業との技術交流会

## 環境生活農林水産常任委員会

生活文化行政の推進、環境保全の推進、廃棄物対策、農林水産業の振興などについて、審査・調査します。

### 【重点調査項目】

- ダイバーシティ社会の推進  
性別や国籍、年齢等に関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できるダイバーシティ社会の推進に向けた取り組みについて調査します。
- もつかる農林水産業と獣害対策  
農林水産業の体質強化や付加価値の向上、輸出促進など「もつかる農林水産業」の実現に向けた取り組みのほか、農林水産物に対する獣害対策について調査します。
- 県産農林水産物の戦略的販路拡大  
東京オリンピック・パラリンピックを契機とした、県産農林水産物の戦略的な販路拡大の取り組みについて調査します。



タイでの県産水産物の商談

## 健康福祉病院常任委員会

保健衛生行政の推進、社会福祉・社会保障の推進、地域医療対策、子ども・青少年の育成、病院事業の運営などについて、審査・調査します。

### 【重点調査項目】

- 国民健康保険の財政運営の都道府県化  
来年度から都道府県が中心的な役割を担うこととなった国民健康保険の財政運営について調査します。
- 地域における医療と介護の提供体制  
地域に適した医療機能の分化・連携、介護支援機能の強化、認知症対策の充実、県立一志病院の運営形態等について調査します。
- 支え合いの福祉社会づくり  
社会的孤立に陥りやすい人を支え合う地域づくり、民生委員等の地域福祉を支える人づくり、生活困窮者への支援等について調査します。



民生委員：下校時の見守り活動風景

## 防災県土整備企業常任委員会

危機管理・防災対策の推進、公共土木施設の整備・維持管理、都市計画・住宅・その他土木行政の推進、公営企業（病院事業を除く）の運営などについて、審査・調査します。

### 【重点調査項目】

- 防災・減災対策  
今後、発生が予想される地震や津波、風水害などへの備えや発災後の受援体制の構築など、自然災害に対する事前・事後のさまざまな取り組みについて調査します。
- 道路及び流域の整備  
地域の成長を支える道路網や自然災害から生命と財産を守る流域施設などの整備促進、機能保全の取り組みについて調査します。
- 建設産業の活性化  
将来にわたり地域の安全・安心の確保などを担う建設産業の活性化に向けた取り組みについて調査します。



海岸堤防強化対策状況

## 教育警察常任委員会

学校教育の充実、社会教育・文化財保護行政の推進、警察の組織・運営などについて、審査・調査します。

### 【重点調査項目】

- 学力・体力の向上  
英語教育など学習指導要領改訂への対応状況や運動部活動の適切な運営に向けた取り組みなども含めて調査します。
- いじめ防止対策の推進  
「三重県いじめ防止条例（仮称）」の検討状況をはじめ、自他を大切に、命を大切に教育の取り組みについて調査します。
- 県立高等学校の活性化  
県立高等学校活性化計画に基づく取り組みについて調査します。
- 犯罪抑止対策と交通安全対策  
特殊詐欺などの犯罪抑止対策や交通安全対策の取り組みなどについて調査します。



小学校での授業の様子

## 障がい者差別解消条例策定調査特別委員会

障がい者差別解消条例の策定に向け、調査・検討を行います。

### 【調査の概要】

障がい者差別の解消については、障害者差別解消法などが制定され、取り組みが進められています。他の道府県では、障がい者差別の解消の取り組みを一層推進するため、条例を制定する動きが進んでいます。本委員会では、障がい者差別解消条例の策定に向け、障がい者を取り巻く現状や差別の解消の取り組みを進める上での課題などについて、関係者からの意見聴取も行いながら、調査します。特に、障がい者差別の解消に係る主要な法律や他の道府県で制定されている条例、三重県内での障がい者差別等の実態を重点的に調査します。

## 働き方改革調査特別委員会

女性、障がい者、高齢者など、あらゆる県民を対象とする働き方改革について調査します。

### 【調査の概要】

政府は、長時間労働の是正や、同一労働同一賃金の導入による非正規雇用労働者の処遇改善、多様な柔軟な働き方を可能とする制度の導入をはじめとした働き方改革を進めています。働く人一人ひとりが健康で安心してやりがいをもって働くことができる職場環境づくりを進めるためには、働き方改革の実行が不可欠です。本委員会では、県内労働者の働き方の実態や課題を把握し、働き方改革の実現に向けた具体的な方策や行政の果たす役割などについて調査します。

## 選挙区調査特別委員会

県議会議員の選挙区・定数について調査します。

### 【調査の概要】

平成28年5月に設置以降、県南部の地域における過疎化等の地域課題に加え、一票の格差の是正、一人区の解消などのさまざまな検討課題に対して、各会派の意見等も確認しつつ、委員間討議を行ってききました。平成29年5月15日の委員会でも正副委員長から新たな選挙区案が示され、この案に対する各会派の賛否を確認し、新しい正副委員長のもと、さらなる検討を続けています。